

第288号・2023年7月25日(火)
発行・東北大学職員組合書記局
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
内線 片平(91)5029
022-227-8888(TEL) 022-227-0671(FAX)
<https://tohokudai-kumiai.org/>
編集・コア編集委員会



*** 保険証なくすな！
マイナカード見直せ！**
*** 内部留保を中小企業
の最賃アップに！**

現場の要求に基づき、無期転換、 学内民主維持、待遇改善に取り組みます

東北大学職員組合定期大会(7月29日)

2022年度、ロシアによるウクライナ侵攻(2022年2月)が終結せず、戦禍が続いています。物価は高騰し、労働者の実質賃金は減り続けています。私たちの給与は、2022年度のボーナス(勤勉手当)が4.3月分から4.4月分になり、1月分引き上げられませんでした。しかし、昨年から続く食料品やエネルギー価格の上昇など生活物価の高騰に対して十分とはいえません。加えて、非正規職員へのボーナス支給は、今でも置き去りになっています。労働者の全体の待遇を向上させる必要があります。

5年にわたる裁判が残念ながら終了してしまいました。仙台地裁、仙台高裁、最高裁、いずれの判決も、有期労働契約者の雇用の安定のための労働契約法のため趣旨を曲解したものであり、不当判決です。

2022年度末も大量雇止めが強行され、5年雇止めが65名生じました。加えて86名もの10年雇止めがあり、雇止め問題を放置している東北大学の責任は重大であるといえます。

東北大学は、国際卓越研究大学に申請し、いわゆる大学ファンドからの助成獲得に注力しています。その申請に合わせて、総長による部局長指名案、総長任期規程について現行の6年任期・再任無しを「再任可」に改訂する案が浮上しました。これらの案については今年度の実施は見送られたものの、教職員への説明、意見集約が行われていませんでした。学内民主主義が全くながしろにされている状態です。国際卓越研究大学では「効果的な資源の確保及び配分等の行える運営体制」として合議制機関の設置が求められています。

第94回メーデー 5/1



構成員による自治や民主的な組織運営をいかに確保するか、私たちの取り組みが重要になってくるでしょう。

本議案書では、無期転換問題への対応、学内民主主義の維持、要求アンケートの活用について提起します。特に、理学部支部の要求アンケートを農学部、工学部、文科系支部に拡大して実施する方針を示しています。支部における積極的な活用をお願いするとともに、学内世論を引き起こし要求実現に取り組みしましょう。

一方、組合組織につ



一分間スピーチでは東北大での「5年超え」阻止、「12年選手」5年で雇止めを報告。

2023年期も、現場の要求に基づく雇安定、待遇改善、要求実現、働きやすい職場作りのために取り組む所存です。大会における積極的な議論をよろしく願います。

いては、組織率減少が継続しています。広く勧誘活動を行っているところですが、正職員の加入が少なく、支部や個人からの借入やカンパによって予算を維持している状態です。組合員拡大と収入確保が、私たちの必須課題となります。

最高裁判所 非正規職員雇止め裁判 不当判決

片山知史執行委員長

最高裁判所は2023年5月25日に、地位確認を請求する訴訟について上告棄却・上告不受理の決定をしました。最高裁は、上告理由が民事訴訟法が定めている上告受理理由(法令の解釈における重要事項等)が含まれていないとして棄却しました。私たちは、無期転換回避目的の雇止めやそのための更新上限制度が労働契約法18条に反することを問うたものであり、まさに「法令の解釈における重要事項」です。最高裁判決は、上告の内容に対する判断を避けて門前払いしたものであり、最高裁の責務を放棄した不当判決と言わざるをえません。

2018年2月申立ての労働審判が移行したこの訴訟が終了してしまいました。この上告は、仙台地方裁判所の判決(2022年6月)、仙台高等裁判所の判決(2023年1月)が、無期転換逃れの雇止めの違法性を明

らかに看過した不当な判決でしたので、その判決の是正を求めたものです。大量雇止めと解雇が続いています(2022年度末で、10年雇止め86名、5年雇止め65名)。しかしどの部局も、雇止めを望んでいません。私は、裁判が終了したこの機に、以下のことを提案したいと思います。

- ・ 5年上限ルールを見直す。
- ・ 希望者全員の無期転換に道をひらく。
- ・ 現行制度に関わった石寄・山中総合法律事務所との契約を打ち切る。

私たちは、東北大学および社会の非正規職員員の安定雇用と待遇改善を目指します。一緒に働きやすい職場づくりに取り組みましょう。



毎月2回の北門での昼宣伝
「5年上限ルールを見直せ！」

東北大学では毎年、



大ホールを埋める参加者

例年この憲法記念日に開催されている本集

5・3憲法を活かす宮城県民集会

軍拡ではなく戦争回避の外交を

会は、私が代表世話人を務める宮城憲法会議等が主催しています。今年も、仙台国際センター大ホールを会場に、800名を超える参加者で開催されました。講師は柳澤協二さん。防衛庁官房長、防衛研究所所長を経て、2004年から2009年まで、内閣官房副長官補を務めた方です。

書の問題点を踏まえたうえで、世論が3文書を支持していると大変危惧していました。

私は、この講演を聞くまで、「防衛省は戦争したがっている」と思っていました。しかし



講師の柳澤協二さん

まず安保3文書について、その論理を「ウクライナ侵攻」中国も同じことをする、だから備える」「自由で開かれた秩序」中国がこれに挑戦している、だから対抗する」「このままでは中国と戦えない」「だから防衛費を増やす」と明快に説明されました。南西諸島を戦場として想定していること、ミサイルの打ち合いは国民を守ることにならないこと、米国の抑止理論が崩壊していることなど、3文

世論は日本の軍拡を容認するような雰囲気ですが、戦争回避のために何が必要かを今一度考えるべきだと思います。

(片山知史執行委員長)

5/13 学習講演会「新ひの戦前」を象徴する 学問・研究、科学・技術の軍事化への道!?

農学部支部 片山 知史さん



軍事研究解禁か?

宮城県民会館で開催され、約100名の参加がありました。主催は、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟宮城県本部、日本科学者会議宮城支部でした。

特別講演として、井原聰氏(東北大学名誉教授)が、「日本の研究者と民間企業を軍事研究に大動員する経済安全保障政策」として、経済安保の枠組みと目的、産業・経済・学術研究の官僚統制の現状を解説しました。

特に軍事研究について、防衛装備庁・安全保障技術研究推進制度に加え、安全保障特別

重要技術育成プログラム(科学技術振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構)が立ち上がったことが紹介されました。

また特定重要技術の開発と支援として、科学技術全般についてシンクタンクが全ての研究機関のハブとなり、研究協議会が研究内容を統括する体制が今年中に設置されるとのことでした。

私は、現況報告「大学ファンドと国際卓越研究大学で、どうなる・どうする、大学の未来」

として、学術会議法案の経緯と本質的問題を説明しました。また東北大学において、大学ファンド

申請に伴い生じた総長再任問題や部局長指名問題などを報告し、学内中

が体制的になっており、もし総長が軍事研究容認方針を打ち出したら、

東北大学教員は果たして反対するか、という問題提起をしました。

国が巨額の予算で、先端産業技術と軍事技術を一体として推進している中、いよいよ大

学術会議問題も大学ファンドも軌を一にするものです。しっかりと情勢を知り対応していかなければなりません。

宮城県労連からの呼びかけにこたえて、集会に参加してきました。

東北大学無期転換ルール現状報告

多元研支部 後藤洋子さん

初日の全体会には大阪・岡山方面からの参加者は間に合わなかったようですが、それでも会場参加は280名、オンライン参加は330名の計610名の参加で始まりました。

開式いきなり会場全員参加の「全国一律!サイチン音頭」で体をほぐさせられ、そのあと、基調報告として「ジェンダー平等の社

会を目標して」「非正規労働者の現状」「労働組合があるからこそ」についての報告がありました。

続いてパネルディスカッションとしてコーディネーターの松元ちえさんが5名のパネラーと共にそれぞれの職場の待遇、現状、組合員になったきっかけなどを聞いていく形で進められました。特に印象的だったのは顔出しNGで参加の70代女性、料理店で洗い場を中心

自身への待遇改善要求のために自分一人でも入れる組合に入り、時給アップと職場環境の改善(新しい機械が入った)を実現させたその強さに驚きました。

二日目は、東北大学で取り組んでいる問題「無期転換 雇用の安定を求めて」という分科会(参加者12名)に参加しました。全労連雇用・労働法制局長の伊藤圭一氏による解説で無期転換ルールをめぐる状況について情報交換を行いました。私も東北大学における無期転換ルールの悪用について報告しました。



ひきだし

フォントに困った話

理学部支部 小俣 乾二さん

本学のほとんどの理系学生の必修科目に設定されている自然科学総合実験という科目を担当しているといういろいろなことを体験する。

この科目は非常に多い受講生を対象とするため、データベースを用いて情報を統括し、その入力の手援にバーコードを活用している。以前は4桁のID番号を各学生に割り振りバーコードを個々に配布していたのだが、ID番号は不自由であったため学籍番号を使うことにした。この切り替えにあたりCODE39というバーコード体系をCODE128という体系に変更することにした。バーコードを発生させるにはさまざま

な方法があるが、対応する文字のバーコードと、調整後にプリンターで印刷してバーコードリーダーで読ませてみて初めて読めるかどうか判別できることである。そうこうして作ったフォントセットは、10年以上にわたり十二分に役立ってくれたが、Google Classroomの導入に伴いお役御免となった。ひっそりとお蔵入りは寂しいので、この場に経緯を書き記しておこうと思う。



交流の広場

サテライト会場と個人視聴も加えて995名が参加。オープニングは「多賀城のいにしえにご案内」。万葉の衣装をまとった有名作家の志田陽子さんは、「安保3文書」の危険な内容と、安倍政権時代からいかに憲法を無視し、民主主義を破壊して重要なことを閣議決定だけで決めてきたかということのわかりやすく話されました。交流の広場では、女川原発再稼働反対・4

人が登場し、和歌を詠いあげました。「平和を育てる憲法に託された希求」と題した記念講演で憲法学者の志田陽子さんは、「安保3文書」の危険な内容と、安倍政権時代からいかに憲法を無視し、民主主義を破壊して重要なことを閣議決定だけで決めてきたかということのわかりやすく話されました。交流の広場では、女川原発再稼働反対・4

編集後記

8月15日(火)

予算の裏付けもないまま軍事費5年総額43兆円を決定し、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化を、国民の批判が大きくなっていくのに見直さない政府。どれほどアメリカと財界の方だけを見て政治をしているのか、怒りが治まらない。国民のための政治を！

(編 M)

戦争させない！
STOP!大軍拡・大増税・改憲発議
6.10 宮城県民大集会
誰もが大切にされ、
希望の持てる明日に向けて



講演者 猿田佐代さん
約800名が参加

日程表

*東北大学職員組合

定期大会

7月29日(土)

*原爆パネル展

7月29日・30日

*原水爆禁止世界大会

8月7~9日

*ふたたび戦争を繰り返さない集い

8月15日(火)

病院統合反対の運動などの報告がありました。来年は大崎市で行われます。(編 T)